

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実	施策主管課	都市政策課	課長名	澤田 利徳			
政策の目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています									
施策No	02	施策名	公共交通の確保	関係課名	観光課、東和地域振興課					
施策の目指す姿	公共交通が利用しやすくなっています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹線バス路線、観光バス路線の利用者数が減少し、路線ごとの赤字額が増加しており、民間バス事業者の負担も増加しています。</li> <li>市街地循環バスによるまちなかの移動の利便性について周知が不足しています。</li> <li>予約応答型乗合交通は利用者が固定化されてきており、新規の利用者が増えています。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者が大幅に減少し、公共交通事業者の経営環境が急激に悪化しています。</li> <li>いわて花巻空港の国内線の利用状況は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や都道府県間の移動自粛要請の影響により、令和2年3月以降大きく落ち込みました。また、国際線の上海、台北への定期便は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、上海便が令和2年2月から、台北便が同年3月からそれぞれ運休しています。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹線バス路線、観光バス路線の利用者を増やすためさらなる利用促進策を講じる必要があります。</li> <li>市街地循環バスの利便性について、市民に対し一層周知を図る必要があります。</li> <li>予約応答型乗合交通の新規利用者が増えない理由を分析し利用促進策を講じるとともに、地元へのPRに取り組む必要があります。</li> <li>地域公共交通の維持確保のため、公共交通事業者（乗合バス、タクシー）を支援する必要があります。</li> <li>いわて花巻空港既存路線の利用者数回復、乗り継ぎの利便性を向上させるための新たな国内主要空港との路線誘致並びに海外定期便の運航再開に向けた取り組みを岩手県と連携し取り組む必要があります。</li> </ul>										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、更なる利用者の減少が見込まれ、路線バス等の減便の申出等がある中、継続して公共交通サービスを確保・支援するとともに、公共交通を必要とする市民の利便性向上のため、交通結節点（バス待合所）の整備を行う。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、駐車台数が大幅に減少しており、今後の推移を見ながら、駐車場整備の必要性を検討する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、まずは、国内線発着便の通常運行化に向けて、関係機関と一体的な取り組みを行う。</li> </ul>										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地循環バス、コミュニティバスの運行及び広域生活路線バスの運行補助を行うとともに、交通不便地域において、予約応答型乗合交通（5地区）を運行し、市民が利用しやすい公共交通サービスの提供を行ったほか、ポスター・時刻表・公共交通マップの作成、予約応答型乗合交通の体験試乗会を行い、公共交通の利用促進、予約乗合バスの新規登録者及び利用者の増加を図った。また、イトーヨーカドー花巻店バスターミナル内に交通結節点（バス待合所）を整備し、利用しやすい公共交通サービスの提供を行った。</li> <li>新花巻駅駐車場に加えて、花巻駅駐車場についても電子マネー・クレジットを導入したことにより利便性が向上した。</li> <li>岩手県空港利用促進協議会や関係機関と一体的となって取り組んだが、花巻空港における国内線全便が令和4年5月以降運休となっている。</li> </ul>										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 利便性の高い公共交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹線バス路線、観光バス路線の利用促進（周知広報）</li> <li>市街地循環バスの利用促進（周知広報）</li> <li>イトーヨーカドー花巻店バスターミナル内に交通結節点（バス待合所）を整備し、利用しやすい公共交通サービスの提供を行った。また、ポスター・時刻表・公共交通マップを作成し、公共交通の利用促進を図った。</li> <li>予約応答型乗合交通の拡充及び利用促進</li> <li>交通不便地域において、予約応答型乗合交通（5地区）を運行し、市民が利用しやすい公共交通サービスの提供を行ったほか、ポスター・時刻表・公共交通マップの作成、予約応答型乗合交通の体験試乗会を行い予約乗合バスの新規登録者及び利用者の増加を図った。</li> <li>公共交通事業者（乗合バス、タクシー）に対する事業継続のための支援</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、乗合バス事業者の経営環境が急激に悪化していることから、公共交通の維持確保のため、乗合バス事業者に対し事業継続のための支援金を交付した。</li> </ul> <p>(2) 航空便の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響による需要減からの回復に向けた、いわて花巻空港利用促進のためのPR</li> <li>市広報に市民向け周知のためのダイヤ改正について掲載</li> <li>航空便の増便に向けた関係機関への要望活動</li> <li>全国民間空港関係市町村協議会での要望、国要望の実施</li> <li>岩手県が行う定期便及びチャーター便等の誘致促進事業への協力</li> <li>岩手県空港利用促進協議会と連携した国内・国際路線継続・復活のための誘致活動の実施</li> </ul>										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
公共バス（市運営、民間運営）の利便性に満足している市民の割合	市民の身近な公共交通であるバス（民間運営、市運営）の利便性満足度を示す指標	市民アンケート測定「普段の生活の中で利用する下記項目の基盤整備状況に満足していますか？」公共バス（民間路線バス、ふくろう号、デマンドタクシー等）(1)満足、(2)どちらかといえば満足、(3)どちらともいえない、(4)どちらかといえば不満、(5)不満、(1)(2)選択数をカウントし、満足度を測定。分からない、無回答はバス利用者・利用希望者とみなさず分母に含めない。	%	目標値	43.00	43.00	45.00	47.00	49.00	50.00
				実績値	42.70	42.20	44.05	41.32		
いわて花巻空港年間利用者数	空港（航空機）の利用状況を示す指標	岩手県空港課（岩手県空港利用促進協議会）が集計し発表するもの。（国際定期便4路線と国内・国際チャーター便の利用者数）	万人	目標値	43.10	43.10	52.50	52.70	53.40	53.40
				実績値	48.20	48.50	14.15	20.59		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「公共バス（市運営、民間運営）の利便性に満足している市民の割合」・・・【達成度c】                      市街地循環バス、コミュニティバス、予約応答型乗合交通の運行や民間路線バスへの支援により公共交通サービスは維持されているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、路線バス事業者の経営状況が悪化している中、運行事業者から「湯口線」、「花巻温泉線」を減便する申出があり、市が主体となり地域説明会を開催し、運行事業者に対し住民の意見を出来るだけ反映するよう協議を行った結果、減便は最小限にとどめたが、沿線地域（松園、湯口、湯本）で満足度の減少が見られ、減便の影響によるものと推察される。</p> <p>成果指標「花巻空港年間利用者数」・・・【達成度c】                      花巻空港での国内線の減便や、海外への渡航制限が実施されたことによる国際線の運休があった中、令和3年度の同空港の年間利用者数は前年度より45.7%増となり国内線が一定程度回復したが、同感染症前までの水準まで回復していない。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>（公共交通確保対策事業）                      ・当日予約に対応した予約応答型乗合交通「予約乗合バス」の導入拡大と地域内交通の見直しを行う。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
<p>（公共交通確保対策事業）                      ・花巻市地域公共交通網形成計画の計画期間が令和5年度までであることから、次期計画の策定に向け意向調査・課題整理・事業の方向性を検討をする必要がある。また、予約応答型乗合バス受付業務において、運行事業者より現システムは乗合が発生せず非効率であり、効率的な運行を行うため予約の入れ直し作業等が負担であるとの意見があることから、負担軽減、効率的な配車となるシステムへの見直しを行う。</p> <p>（空港利用促進事業）                      ・国内の渡航制限の緩和により海外への観光目的による渡航が再開されたが、国内の主要空港での国際線就航が一定程度行われた後、観光需要の回復状況を受け、地方空港での国際線就航が進められると予想されており、花巻空港での国際線再開に向けた誘致活動を行う必要がある。</p>

5 施策の総合的な評価

課題
<p>・交通不便地域を解消するため、予約応答型乗合交通を含めた新たな交通手段の導入を検討する必要があるが、路線バス等の既存の公共交通サービスへの影響を考慮し慎重に検討する必要がある。</p> <p>・現在の予約応答型乗合交通の配車システムについて、受付業務の負担が大きく、かつ、乗合率が悪いことから、配車システムの見直しをする必要がある。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、現在運休している上海便、台北便の早期再開に向け、誘致活動を行う必要がある。</p>
今後の方向性
<p>・令和6年度からを計画期間とする次期公共交通計画を策定しなければならないことから、市民が利用しやすい公共交通サービスを提供するための取り組みについて、公共交通事業者とともに検討し、その取り組みについて公共交通計画に反映し、計画的に実行していく。</p> <p>・予約応答型乗合交通の地域追加も将来的に見据え、受付の省力化を図りつつ、効率的な運行と利用者の利便性向上のため、新たな予約応答型乗合交通の配車システムを導入する。</p> <p>・花巻空港も含めた地方空港への国際線の就航には時間を要すると予想されるが、岩手県空港利用促進協議会や関係機関と連携し、花巻空港の運休中の国際線2路線の再開に向け、一体的・継続的な誘致活動に取り組む。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	<b>空港利用促進事業費</b>	観光	間接・少数	間接・補完	C
	岩手県空港利用促進協議会都等への支援、並びに連携した利用促進活動を実施、新規路線就航及び増便にかかる要望活動、就航先都市でのPR活動（航空会社、国等への要望活動5回、関係団体との協議、検討会7回）				
020	<b>公共交通確保対策事業費</b>	都市政策	一致	直結	C
	市街地循環バス・大迫花巻連絡バス・中部病院連絡バス・予約応答型乗合交通運行補助（市街地循環バス利用者数：79,825人 予約応答型乗合交通登録者数：4,191人）				
030	<b>公共バス支援事業費</b>	東地(建設)	間接・少数	間接・補完	-
	経営改善事業補助金交付額（625千円）				
040	<b>都市施設機能改善事業費</b>	都市政策	間接・少数	間接・補完	-
	花巻駅南駐車場（第1、第2）マルチ電子マネー、クレジットカードによる料金支払方法の拡大				
050	<b>公共交通事業者緊急対策事業費</b>	都市政策	一致	直結	B
	新型コロナウイルス感染症の影響により、乗合バス事業者の経営環境が悪化していることから、事業継続のための支援金を交付（乗合バス事業者：1社）				